

ケアプランデータ連携システムの導入について



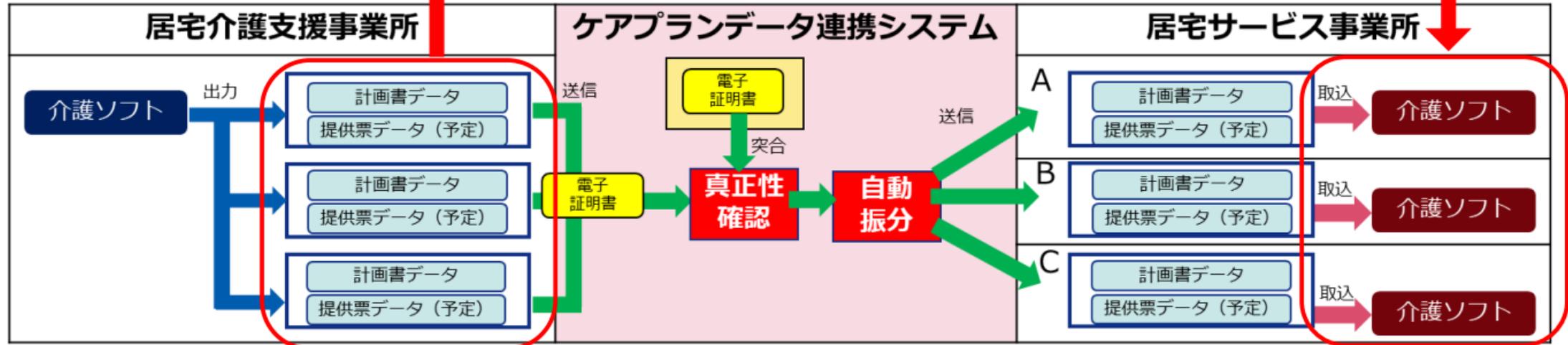
兵庫県福祉部高齢政策課 企画調整班

ケアプランデータ連携システムについて

令和5年12月6日開催「地方公共団体によるケアプランデータ連携システム活用セミナー」厚生労働省資料

これまで主に毎月FAXでやり取りされ、介護事業所の負担が大きかったケアプラン（提供票）を、クラウド上で安全に電子データのやり取りをするシステムです。**本年4月20日、国民健康保険中央会にて本格稼働！**

【計画・予定情報の流れ】



※実績情報は逆の流れ（居宅サービス事業所→居宅介護支援事業所）となり、予定情報と同様、真正性確認の上、振分けられる。

ケアプランデータ連携システムで期待される効果

- 手間、時間の削減による**事務費等の削減**
- データ自動反映による従業者の「**手間**」の削減・効率化
- 作業にかかる「**時間**」の削減
- 従業者の「**心理的負担軽減**」の実現
- 従業者の「**ライフワークバランス**」の改善
- 事業所の「**ガバナンス**」、「**マネジメント**」の向上



ケアプランデータ連携システム



ヘルプデスクサポートサイト

人件費	¥95,218
印刷費	¥792
通信費	¥1,826
郵送費	¥2,220
交通費	¥2,140
介護ソフト利用費	¥31,417

利用前	¥38,395
利用後	¥34,211
削減効果	¥4,184/月
	(¥50,208/年)



ケアプランデータ連携システムとは

居宅介護支援事業所と居宅サービス事業所とのケアプランのやりとりを、
オンラインで完結できる仕組みです。



介護分野の生産性向上を図り、いきいきと働ける職場を実現するためには、
ICTを介護現場のインフラとして活用することが重要です。

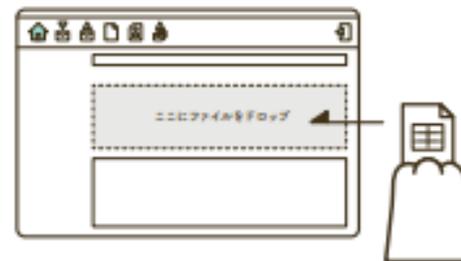
厚生労働省では、事業所間でやりとりされる情報について、
データ連携の約束事を「ケアプラン標準仕様」として定めています。

その約束事に従って、異なる介護ソフト同士でも安心してつながれる基盤として、
国民健康保険中央会は「ケアプランデータ連携システム」を提供します。

3つのメリット

① かんたん

計画書(1表、2表)や提供票データ(6表、7表)といったCSVファイルなどを、ドラッグ&ドロップするだけで準備完了。郵送やFAXなどの送付の手間から解放。



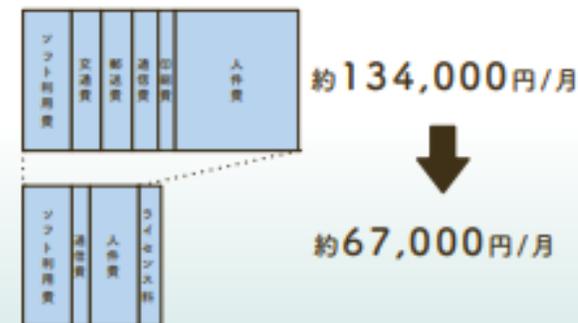
② あんしん

記載ミスや書類不備が減り、手戻りが減少。介護報酬請求で使用されているセキュリティ方式を採用し、安全性は万全。導入から運用まで、安心のサポート体制を提供。



③ さくげん

やりとりにかかる業務時間を約1/3に抑えられる研究結果があります。費用については、ライセンス料21,000円の投資で年間約80万円の削減が見込めます。



(出典：令和2年度老人保健健康促進事業「介護分野の生産性向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」)

推奨の言葉

「今の時代に、なくてはならないもの」だと思います。
ケアマネジャーの仕事である「モニタリング」は
人が行わなければならないものですが、もう一方の
「給付管理」は効率化が可能な事務作業です。

「給付管理」の時間を短くして、「モニタリング」に
あてれば、ケアマネジメントが非常に豊かになって
いくと思います。



国際医療福祉大学大学院
医療福祉経営専攻
石山 麗子教授



居宅介護支援事業所
株式会社トライドマネジメント
長谷川 徹代表

導入したきっかけは、スタッフの負担を減らし、
利用者さんとの時間を取ってほしかったためです。
システムの操作は、ドラッグ & ドロップと、ワン
クリックだけで利用できます。

介護業界の時代が変わる瞬間で、間違いなく
大きな手段の一つだと思います。

利用開始までの流れ

STEP 0

利用申請前の確認



データ連携する事業所とシステム導入時期を確認します



ご利用の介護ソフトがケアプラン標準仕様に対応しているか確認します



インターネット接続できるWindows10以上の端末を準備します



居宅介護支援事業所と居宅サービス事業所が対象です

STEP 1

電子証明書のインストール



電子証明書の有無・種類を確認
必要に応じて発行申請し
端末にインストールします

STEP 2

ケアプランデータ
連携システムの利用申請



KJではじまる14桁のIDと
有効なパスワードで
システムの利用申請を行います

STEP 3

ケアプランデータ
連携システムのインストール



ケアプランデータ連携システムを
ご利用する端末にシステムを
インストールします

STEP 4

ケアプランデータ
連携システムの利用開始



連携事業所の準備が完了後
ケアプランデータの
送受信を開始します

【国の取組】フリーパスキャンペーンの実施

ケアプランデータ連携システムの普及促進を図るため、

令和7年度中に、フリーパスキャンペーンを開始予定

※システム利用料(年21,000円)が無料となります。

○フリーパスキャンペーンオンライン説明会(主催:国保中央会)

・日時:令和7年3月14日(金)13時30分～15時00分

・実施方法:YouTubeライブ

※キャンペーンの内容や適用タイミング、手続き方法等について、説明予定

説明会へは、ケアプーYouTube公式チャンネルからアクセス可能

※配信終了後は、アーカイブ動画にて視聴可能

[ケアプーYouTube公式チャンネル - YouTube](#)



ケアプランデータ連携システム
フリーパスキャンペーン
オンライン説明会

期間限定
今なら21,000円無料
フリーパス
キャンペーン

参加費無料

事前登録不要

だれでも参加OK

日時: 2025年3月14日(金) 13:30～15:00

実施方法: YouTubeライブ (事前申込不要)

対象: 全ての介護事業所様・介護関連団体様・自治体・国保連

プログラム

1 R7年度におけるケアプランデータ連携システムについて
～ケアプランデータ連携システムの更なる活用に向けた施策～
厚生労働省 老健局高齢者支援課 室長補佐 秋山 仁氏



2 ケアプランデータ連携システムとフリーパスキャンペーンについて
国民健康保険中央会 泉 明男氏

3 事業所様・専門家からのお声
居宅介護支援事業所 株式会社トライドマネジメント 代表 長谷川 徹氏
株式会社TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓氏

視聴方法

YouTube 以下のURLにアクセスいただき、ご視聴ください。
視聴に際して、申込・登録は不要です。

<https://www.youtube.com/live/Wkd5kOriXj8>



※ ケアプーYouTube公式チャンネルからLiveにアクセスすることも可能です。
※※ 当日の内容は後日アーカイブ動画にて視聴可能です



主催: 公益社団法人 国民健康保険中央会 協力: 厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

【県の取組】システム普及促進に係る取組



ケアプランデータ連携システムの普及促進を図るため、モデル地域を設定(姫路市)し、その地域で成果を観察し、その成果を普及啓発する事業を実施しました。

(兵庫県介護支援専門員協会へ事業委託)

取組内容

- ① システム導入促進を図る説明会の開催(R6.9.12)
- ② システム導入による効果測定・調査の実施(R6.10~R7.1)
- ③ システム普及促進を図るフォーラムの開催(R7.2.24)

▶ システム概要説明などを行った説明会、導入事業所からの事例発表などを行ったフォーラムの動画・資料を県HPでご覧いただけます！



県HP: [兵庫県/ケアプランデータ連携システムについて](#)

公式サイト

詳しいご説明を掲載したサイトをご用意。
使用開始までの手順などを動画つきで解説しています。



ケアプラン ヘルプデスク

検索



<https://www.careplan-renkei-support.jp/index.html>

電話でのお問い合わせ

TEL 0120-584-708

受付時間 9:00～17:00（土日祝日は除く）
年末年始（12月29日～1月3日）は、お休みさせていただきます。

公式キャラクター
「ケアプー」

